

2022年7月29日(金)、宮城県仙台市の会議室で「高校生SDGsセミナー」を開催。東北地区の9校が会場参加、5校がWeb参加。全14校の高校生がSDGs意見交換を実施しました。

**主催：**独立行政法人環境再生保全機構 全国ユース環境ネットワーク事務局

**共催：**特定非営利活動(NPO)法人 環境会議所東北 環境甲子園



会場参加 9校のみなさん



Web参加 5校のみなさん

## 参加高校

会場 & Web  
合計 14 高校

青森県立むつ工業高等学校  
青森県立木造高等学校  
秋田県立新屋高等学校  
宮城県志津川高等学校  
宮城県古川黎明高等学校

青森県立三本木農業高等学校・三本木農業恵拓高等学校  
岩手県立遠野緑峰高等学校  
秋田県立能代松陽高等学校  
宮城県多賀城高等学校  
宮城県築館高等学校

岩手県立花巻農業高等学校  
宮城学院中学校高等学校  
宮城県利府高等学校  
山形県立山形西高等学校

## セミナー内容 東北地区 高校生 SDGs セミナー 2022 夏

**テーマ：** 生物多様性と SDGs ～高校生同志の SDGs 意見交換会

**目的：** 東北6県の高校が集まり、「持続可能な社会」について学び、環境をテーマに話し合う。



### 内容

- ① 情報共有～SDGs概要
- ② 基調講演 東北工業大学 山田 一裕教授  
(講演名：環境研究との出会いと今)
- ③ ワークショップ 生物多様性の保全とSDGs



東北工業大学  
山田 一裕教授

**ヨシ（ヨシ原）ってどんな植物？**

① 植物の特徴  
・イネ目イネ科ヨシ属ヨシ (*Phragmites australis*)  
・茎が節状、地下茎でも繁殖する大型の多年草  
・世界中に分布している  
・ヨシが繁茂している場所をヨシ原と呼ぶ。

② ヨシ原の役割・機能  
・日本の原風景の維持 (みやぎの原風景百景)  
・多様な野生生物の生息地  
・水質浄化や環境教育など環境保全機能  
・地産地消 (芋煮き草など) への資源供給  
・文化財・伝統文化の継承・観光資源  
・観光やレジャーエシエンスの対象等... 等  
・二酸化炭素削減に貢献

課題として  
ヨシ原に関わる職人の高齢化や人材不足、農地の減少によるヨシ原の減少、農地による炭素減少 → 持続可能性が低下

ヨシ原に依存する生物にとって貴重な空間

オオヨシキリ

アシハラガエリ

ヨシ原

基調講演資料

## 参加高校生の感想

(抜粋) 参加者多数のため、高校生の感想より抜粋して掲載させていただきます。

- ◆ 水環境を中心として、ヨシ原に生息する動植物の研究に興味をひかれた。
- ◆ 他の高校の研究に高校周辺の生物調査があったが、この研究は生物多様性の研究に関連していると感じた。
- ◆ 1つの観点ではなく、一見関係なさそうな所から多面的にその観点を見ることで、これまでは気づけなかった事も発見することができた。
- ◆ 高校生の自分には何もできないのではないかと感じていましたが、あらゆる視点から物事を見ることで取組みが可能であると思った。
- ◆ 東北という1つの地方とはいえ、地域や特色が違うからこそ多様な考え方があるのだと感じた。
- ◆ 喫緊の課題である飼料生産に関して、高校生から課題に取り組み、地域を巻き込んだ活動していく必要があると思った。
- ◆ 食料廃棄物や家畜を利用するなどといったアイデアが出てきてとても面白かった。生物と自然の関わりを再確認できたので学んだことを活かし、今後の地球を担うユース世代として積極的に取り組んでいきたい。
- ◆ もっとほかの県の人たちの取組みを聞いてみたいと思った。
- ◆ ほかの高校の人が、「自分たちのやっている取組みに興味を持ってもらい、たくさんの人に広めたい。」というのを聞いて、私もたくさんの人との連携を大切にしたいと思った。



セミナーの様子